

PICK UP!

あさひぽかぽかルームの様子取材しました!



あさひぽかぽかルームは天井が高く、明るいお部屋で、子どもたちも落ち着いて過ごせそうです。取材当日、午前中は3人の子どもたちが利用し、保育士とおもちゃで遊んだり、子どもたちが集まって一緒に遊んだり、のびのび過ごしていました。

今年度より始まった本制度について、保育士のかたにお話を伺いました。

Q どんなかたが利用していますか?

A 市内全域から利用があり、入園前の慣らし保育であったり、保護者が用事のあるときに預けたりと、さまざまな理由で利用されています。

Q 子どもたちはどんな様子でしょうか?

A 預けられた直後は泣いてしまう子どももいますが、30分くらいで落ち着くことが多いです。

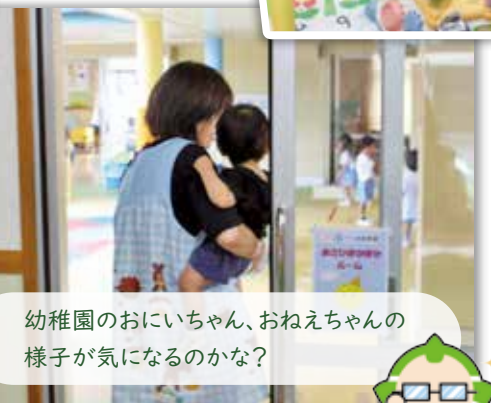
保育士が2~3人いますので、おもちゃと一緒に遊んだり、子どもたち同士の交流が始まったりします。

2時間過ごした後、保護者が迎えに来られた時は「ママ〜!」と抱き付く姿も見られ、思わず微笑んでしまうような場面に出会うこともあります。

Q どんな支援を行っていきたいですか?

A 子どもに対しては、家庭とは違う体験や子ども同士のふれあいをサポートし、成長のきっかけとなるように支援できればと考えています。また、普段一対一で子どもに向き合い続けている保護者に対して、本事業を利用いただくことで育児の悩みを相談できる場を提供し、不安解消の一助になることや、リフレッシュの機会となるように支援していきたいです。

さまざまな年齢の子どもたちが一緒に過ごしています。



幼稚園のおにいちゃん、おねえちゃんの様子が気になるのかな?

◀ カートで園庭をおさんぽすることも



■ 今後の展開について

香芝市では今年度以降、利用対象施設が順次増えていく予定です。

各施設で利用時間や内容が異なることから、各家庭のライフスタイルに合った施設を利用いただける見込みです。